

埼玉県内“表層地盤”の ゆれやすさマップ

埼玉県全体の表層地盤を見ると、東部の平野部が揺れやすく、西部の山間部では揺れにくくなっています。秩父市内では、最も揺れにくい表層地盤が市域の多くを占めていますが、人口の集中する市街地では相対的に揺れやすくなっています。

●“表層地盤のゆれやすさ”とは

一般に地震は、地震の規模が大きくて震源に近いほど揺れが大きくなります。ところが、これらの条件が同じでも、地盤そのもの（表層地盤）の違いによって揺れの強さが異なり、やわらかい場所ではかたい場所に比べて揺れは増幅され、より強く揺れることになります。この効果を、ここでは“表層地盤のゆれやすさ”と表現しています。

